

# 大阪公立大学 森之宮キャンパス





大阪城公園の緑とつながり  
様々な場と活動を育む  
まちのシンボルとなる “知の森”



大阪城高石垣より望む西側外観



## 計画概要

敷地面積：19,317.79㎡

建築面積：10,478.73㎡

延床面積：79,262.96㎡

構造種別：鉄骨造

階数：地上13階

建物高さ：59.82m



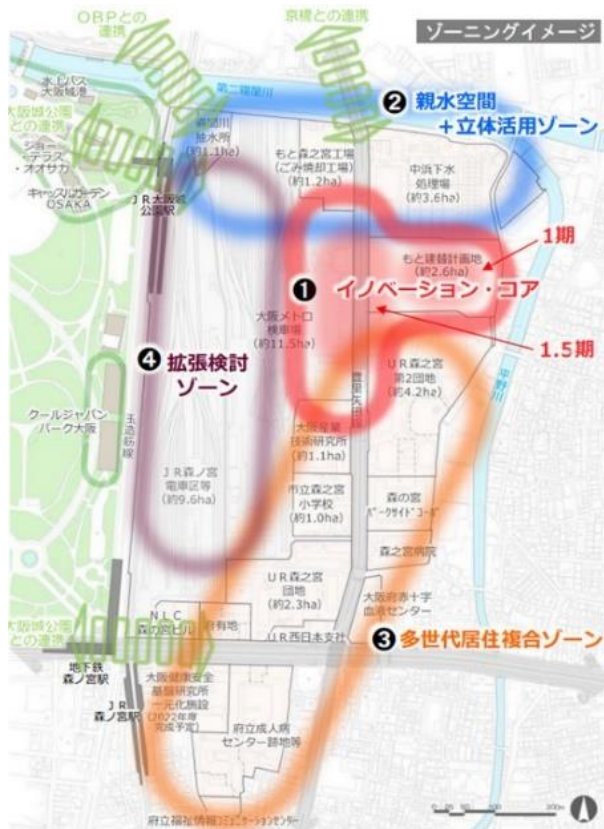


# 大阪城東部地区のまちづくりコンセプト

大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ

夢洲～森之宮を結ぶ大阪の新たな東西都市軸上の東の拠点となる

大阪城東部地区のファーストプロジェクト



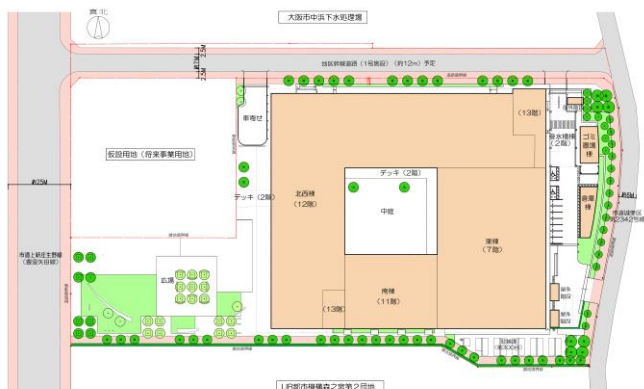


## 計画の特徴

地域に開かれた広場をもつ  
門のない開放的なキャンパス

中庭を中心とした口の字型平面の  
都市型高密度キャンパス

1.5期へ 大阪城公園駅方面へ  
地域とともに成長するキャンパス



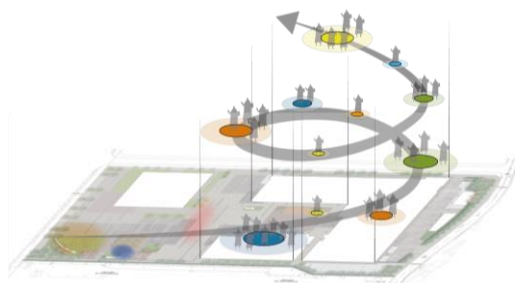
配置図





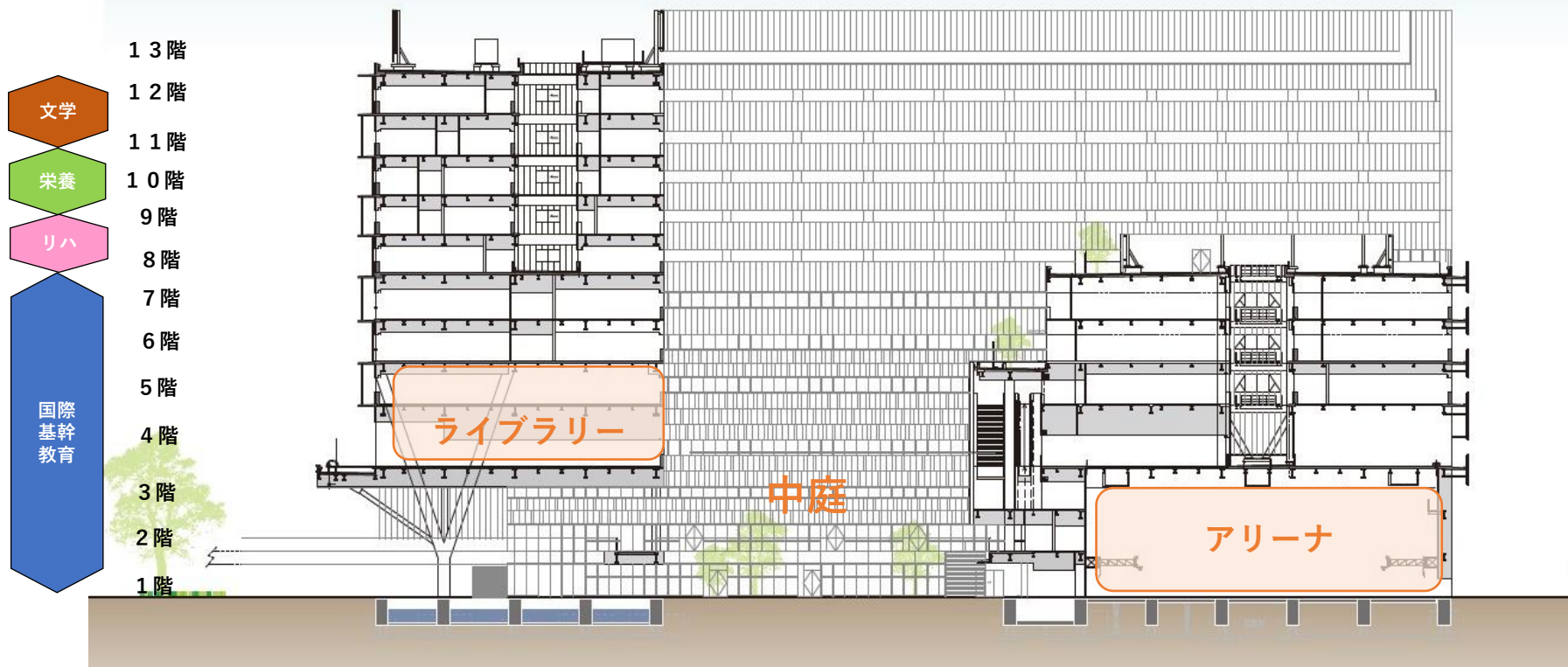
# 建物構成

- ・ 1、2 階に賑わい施設を配置し、**中庭を中心とした賑わいの核**をつくる。
- ・ 3～7 階の**国際基幹教育部門**を配置する。
- ・ 8～13 階の高層部に**専門教育フロア**を配置する。
- ・ 学生の移動の多い国際基幹教育フロア（1～7 階まで）は大きな縦動線「**スパイラルボイド**」でつなぐ。
- ・ 水害ハザードマップを配慮し、**主要な機械室、受水槽、電気室、防災センター等**は 2 階以上に配置する。



中庭を中心にスパイラル状に展開する活動

文学：文学部・研究科  
栄養：生活科学部・研究科（栄養）  
リハ：医学部リハビリテーション学科・研究科





## 南西側外観

コモレビスクリーンとエコスキンにより覆われたアースカラーのファサード





## エントランスピロティ

象徴的な樹形柱で学生を迎え入れる屋根のある外部空間  
軒天には大阪府産木材を採用





## 中庭

施設のメイン動線『スパイラルボイド』が中庭を取り囲む  
地区施設である 2 階デッキはイベント時にはステージの様子を眺める観覧席として機能する





## 4Fライブラリー

4, 5階には地域の方も利用できるライブラリー





## 4Fライブラリー

産官学連携の拠点となるスペース





## 12Fスカイラウンジ

大阪城公園を望む特等席





## ラウンジスペース

サインやグラフィックにはゴールドを採用





## 多様な居場所

建物内外に学生・教職員・地域住民が利用可能なオープンスペースを多数配置  
周囲の風景とつながり、多様なひとが憩うスペースが地域に開かれたキャンパスを体現する





## 多様な居場所

建物内外に学生・教職員・地域住民が利用可能なオープンスペースを多数配置  
周囲の風景とつながり、多様なひとが憩うスペースが地域に開かれたキャンパスを体現する

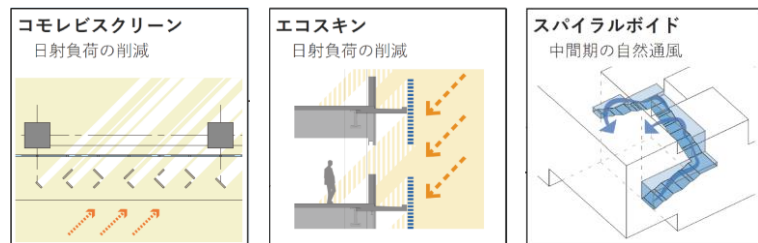




# 環境配慮

外壁断熱性能を確保し、庇・日射遮蔽ルーバーによって内部への日射熱負荷を低減

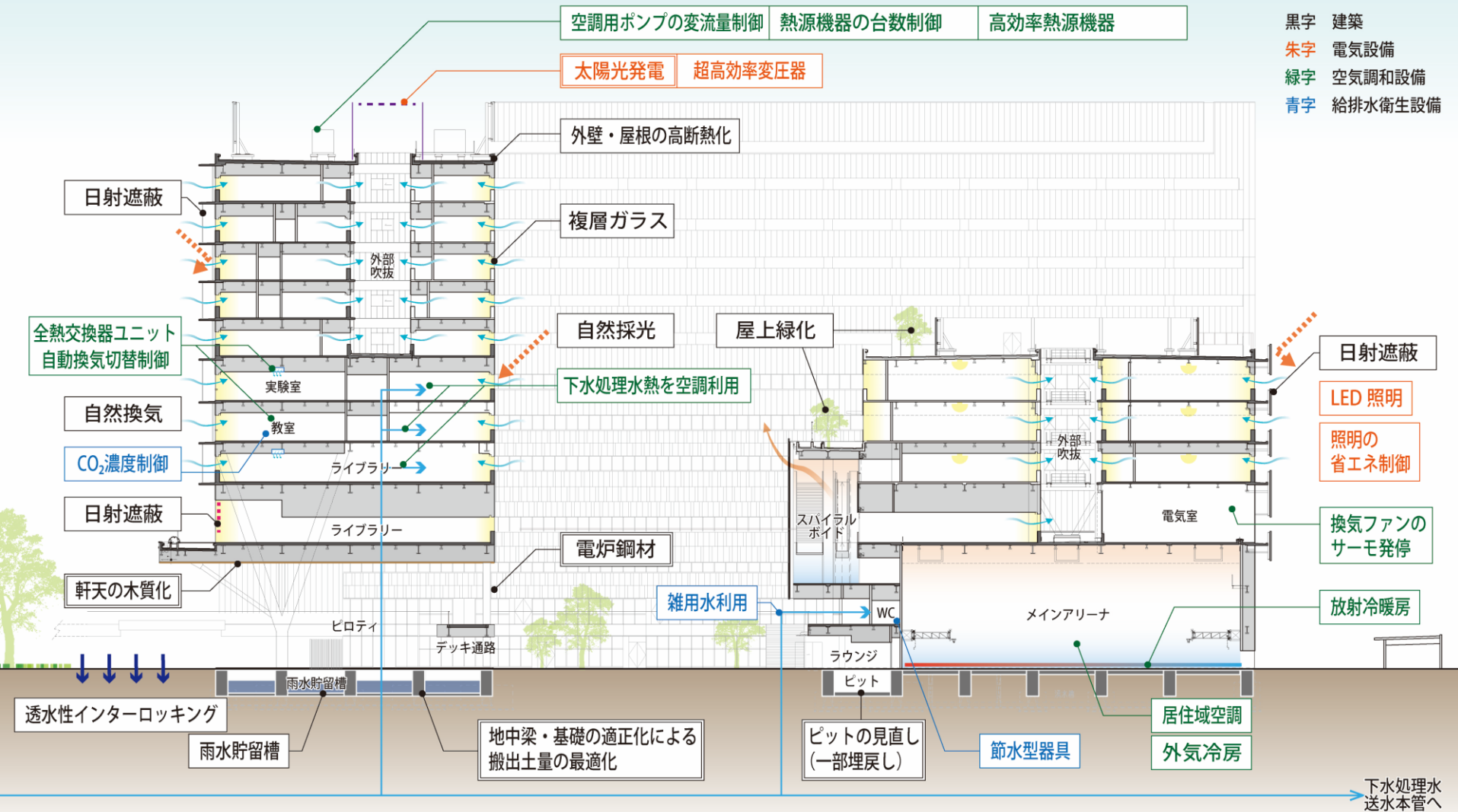
空調は各室用途に適した空調・換気方式を採用  
地域未利用エネルギーも活用し効率的な空調設備を計画している



空調用ポンプの変流量制御 熱源機器の台数制御 高効率熱源機器

太陽光発電 超高効率変圧器

黒字 建築  
赤字 電気設備  
緑字 空調和設備  
青字 給排水衛生設備

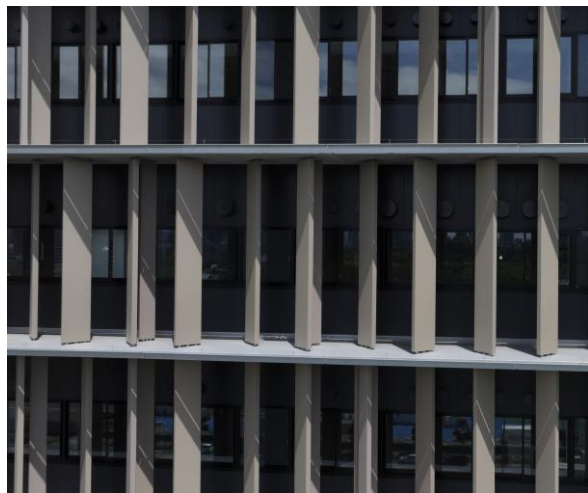


下水処理水  
送水管へ



# コモレビスクリーン

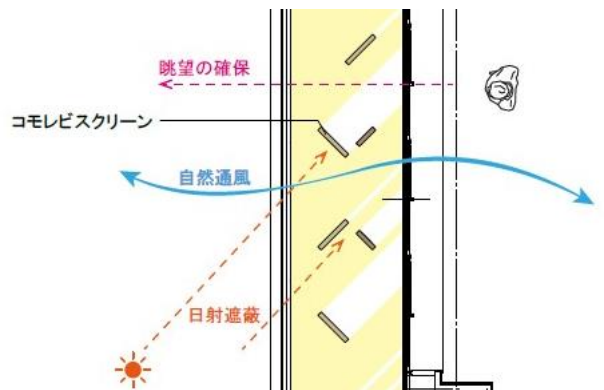
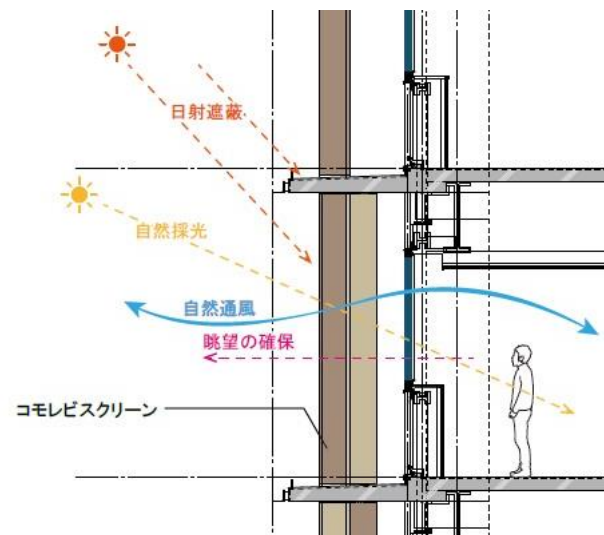
ECPパネルを前後2列に奥行きをもたせたランダム配置にすることで  
日射の遮蔽と大阪城への眺望の確保を両立しつつ動きのある外観を実現



西側外観



西側内観



バルコニー周り断面・平面 日射遮蔽 47.7%



# 空調システム

## 大学施設の使い方・特徴に合ったシステムを導入

教室・ライブラリ：人員変動が大きい

→ 換気量を制御し、外気負荷を低減

実験室・教員居室：負荷傾向・使用時間が様々

→ 個別に運転管理が行える  
空調・換気システム

アリーナ：大空間 → 床放射冷暖房システム

施設の使用時間帯は主に平日の日中

→ 空調・換気・照明の消し忘れ防止  
のため、スケジュール運転

## 計画地独自のエネルギー

未利用エネルギーである下水処理水熱を導入

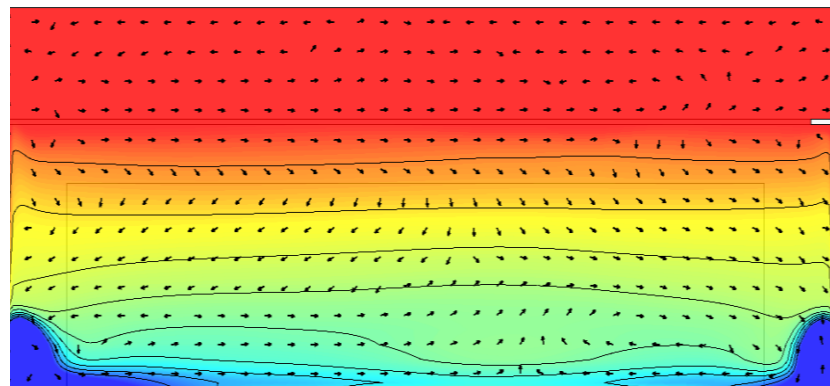
## 運用面での更なる省エネへ

設備統合ネットワークによる各種設備の一元管理

BEMSによるエネルギーの見える化



メインアリーナ内観



冷房時の環境シミュレーションによる温度分布（断面）



## 計画地独自の取り組み

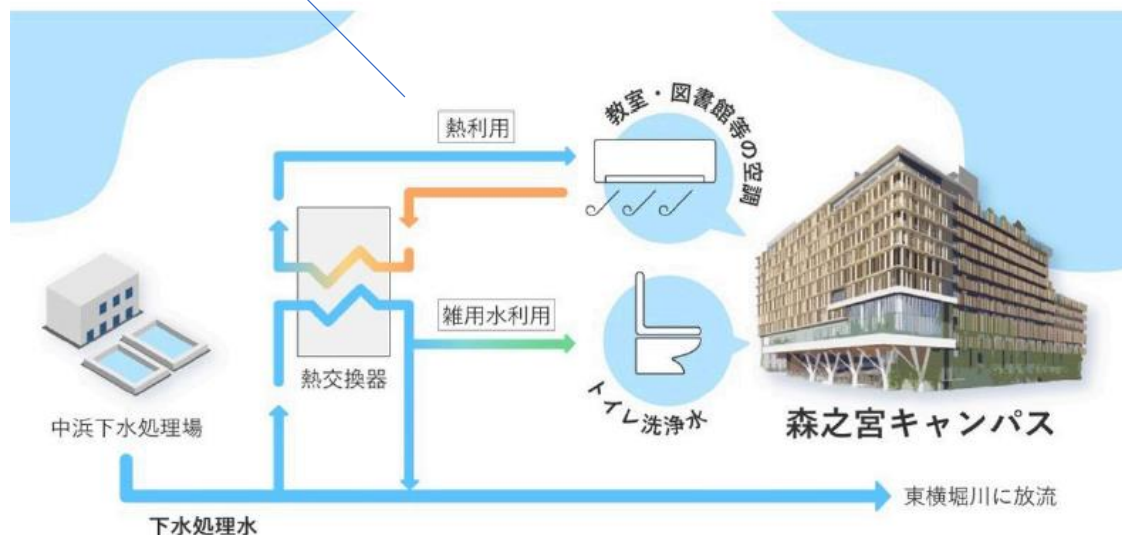
### 下水処理水を森之宮キャンパスの空調・雑用水に再利用

隣接する中浜下水処理場で超高度処理された下水処理水を  
「空調の熱源」「雑用水の水源」に再利用し、二酸化炭素排出量を削減。ヒートアイランド抑制にも寄与。



中浜下水処理場

森之宮キャンパス



#### 水質改善の取り組み

- ① 水門操作による改善 (きれいな大川の水を導入)
- ② 貯留管の整備 (雨天時汚濁物の越流対策)
- ③ 超高度処理水の導入 (中浜MBR処理水を送水)



<参考> 大阪市中浜下水処理場水処理施設整備事業  
一膜分離活性汚泥法 (MBR) と高速ろ過施設の導入  
出展: 大阪市建設局ホームページ



## 周辺緑地を踏まえた生態系ネットワーク

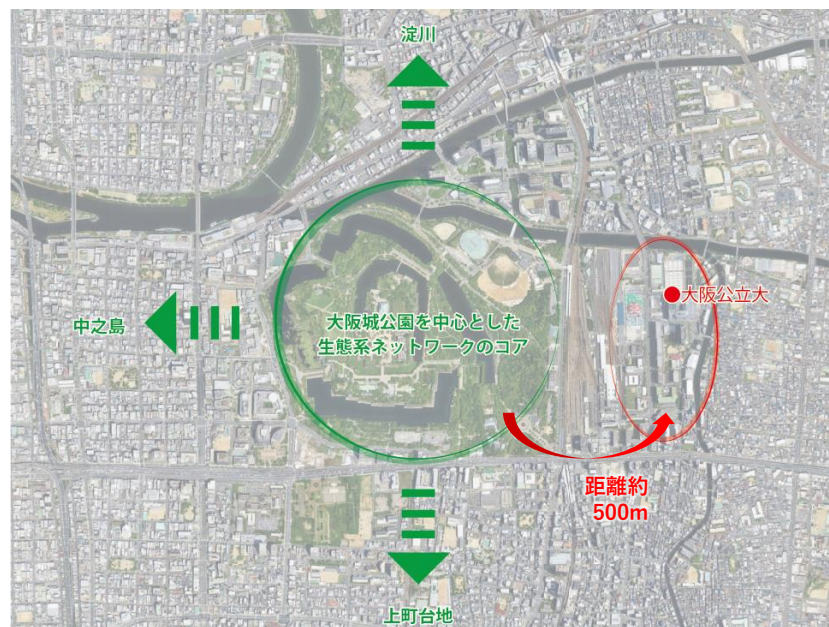
大阪城東部地区は、検車場跡地により、  
東方向への連続的な緑地が希薄な敷地

健全な生態系指標の一種である  
シジュウカラの行動圏を考慮した  
適正な緑地を補完

※シジュウカラは、半径500m内外を生活圏とする。



シジュウカラ

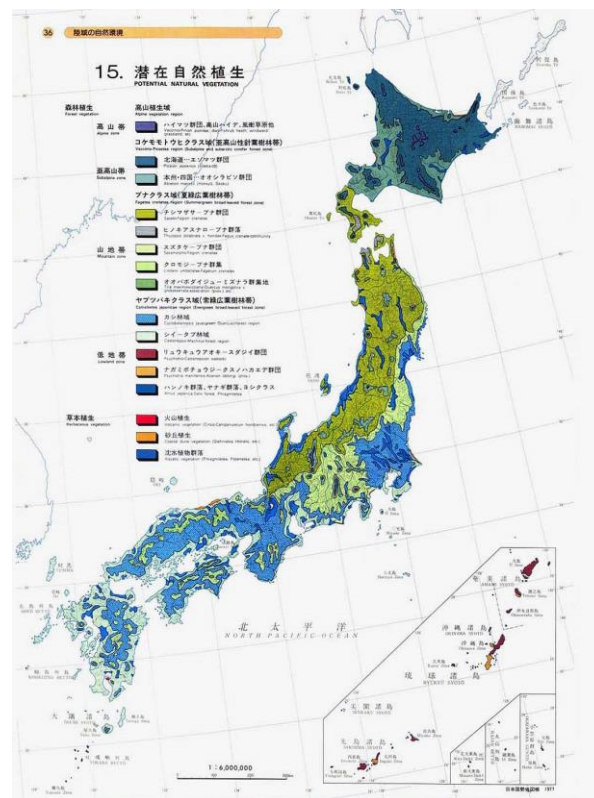


生態系ネットワーク形成に重要な敷地

## 地域に根差した植栽(潜在自然植生)

その地域の自然環境が安定した状態に戻った場合に、  
最終的に定着すると考えられる植生

ヤブツバキクラス域(常緑広葉樹林帯)  
シイ・カシなどの照葉樹林を選定



出展：環境省 生物多様性センター



# 記憶や歴史を継承する植栽

大阪市内の緑地を形成する大阪城公園の四季の移ろいや、  
ロゴマークのモチーフに採用される樹木

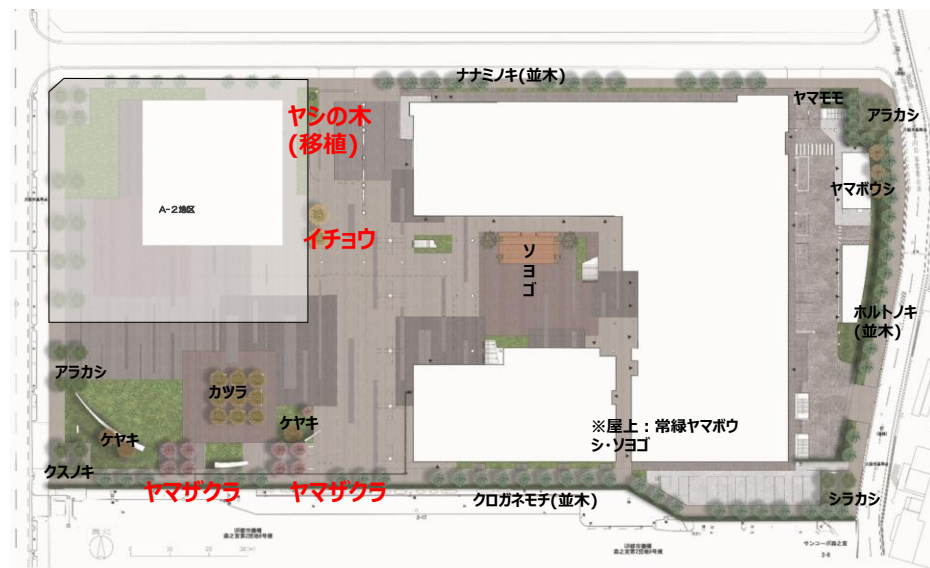


大阪城公園や大学の記憶  
イチヨウ・サクラ・ヤシなど



大阪公立大学  
Osaka Metropolitan University

イチヨウ・サクラ・ヤシをモチーフとした  
地域になじむ新たなシンボル



府大のサクラ



市大のヤシの移植



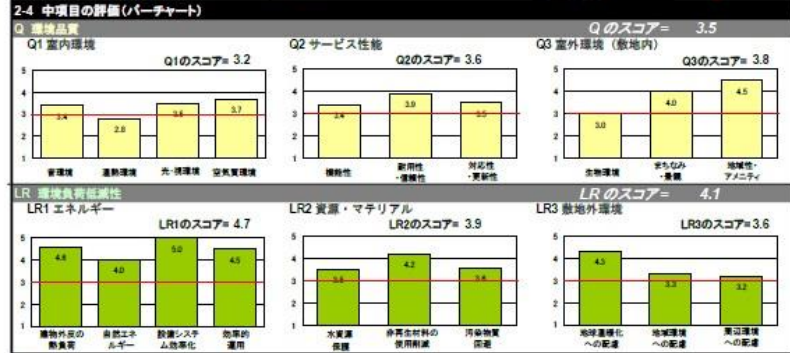
四季彩豊かな大阪城公園

# CASBEE Sランク (BEE 3.0)

# BELS認証 (ZEB Oriented)

## CASBEE 建築物総合環境計画概要書 新築

1-1 建物概要	1-2 外観
建物名称 大阪公立大学(仮称)森の宮学舎新築事業 建設地 大阪府城東区森の宮二丁目2番3の一部、2番23の一部、2番24 建築用途 大学 建築主 公立大学法人大阪 理事長 篠島 伸一 設計者 株式会社安井建築設計事務所 寺岡聖治 敷地面積 19,317.79 m <sup>2</sup> 延床面積 10,097.17 m <sup>2</sup> 延床面積 78,712.77 m <sup>2</sup> 構造/階数 S造 / 13階 完了年(予定) 2025年3月	



3 設計上の配慮事項	その他
大規模公園の緑とつながる景観形成および地球環境へ配慮し、敷地の内外に開いて様々な場と活動を生む「50の森」を創出す。	
Q1 計画概要 建築物の敷地面積を、400m <sup>2</sup> 以内の範囲に、CO <sub>2</sub> 削減、敷地内緑化により良好な環境を確保。開口部の遮断性能をT2以上、壁・床・天井のうち2面は断熱性能とし、断熱率2.5以上、断熱率500%を確保。	Q2 サービス性能 建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。
Q3 室外環境 (敷地内) 建築物の敷地面積を、400m <sup>2</sup> 以内の範囲に、CO <sub>2</sub> 削減、敷地内緑化により良好な環境を確保。開口部の遮断性能をT2以上、壁・床・天井のうち2面は断熱性能とし、断熱率2.5以上、断熱率500%を確保。	Q4 環境負荷低減性 建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。
Q5 エネルギー 建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。	Q6 資源・マテリアル 建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。
Q7 敷地外環境 建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。	Q8 その他 建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。建築物の良質な材料、ゆとりある空間、豊かな生活の場を創出。

建築物省エネ法に基づく  
建築物の  
省エネ性能の  
評価書  
第三者評価  
**BELS**  
建築物省エネルギー性能表示制度

非住宅

物件概要  
建物名称：大阪公立大学 (仮称) 森の宮学舎整備事業  
所在地：大阪府大阪市城東区森の宮二丁目2番3の一部、2番23の一部、2番24

地域区分：6 地域  
構造：鉄骨造  
階数：地上13階  
用途：学校等  
延床面積：78,712.77m<sup>2</sup>

評価概要  
評価対象：建物 (非住宅建築物全体)  
評価手法※1：通常の計算法 (平成28年基準)

評価結果について

本評価結果は、BELS 評価業務方法書に従って評価を行ったものです。申請された図書により評価をしたものであり、評価年月日以降の計画変更や劣化等がないことを保証するものではありません。また、建築物に瑕疵がないことを保証するものではありません。

エネルギー消費性能

★再エネなしの一次エネルギー消費量削減率 ★太陽光発電の一次エネルギー消費量削減率

再エネなし	再エネあり (自家消費分)	再エネあり (自家消費分+売電分)
削減率 43%	削減率 —	削減率 —
BEI値 0.57	BEI値 —	BEI値 —

達成項目 ※達成した場合にのみ、チェックマーク✓とZEBマークが表示されます。

✓ ZEB水準  
エネルギー消費性能が、事務所等の用途で★5つ、病院等の用途で★4つを達成

✓ ネット・ゼロ・エネルギー ZEB Oriented  
ZEB Oriented の要件は評価書の特記項目をご覧ください。

再エネ設備

種類	容量
設備なし	—

評価情報

評価年月日	2025年6月30日	評価書交付番号	002-02-2025-00108
評価機関名	一般財団法人日本建築センター		
評価員氏名	上久保 学、脇田 茜		

※ XMLID: ac416220-ed5e-494c  
※ 1) 平成28年基準とは、建築物エネルギー消費性能基準などを定める省令 (平成28年経済産業省令、国土交通省令第1号) に基づく基準をいいます。







ありがとうございました

